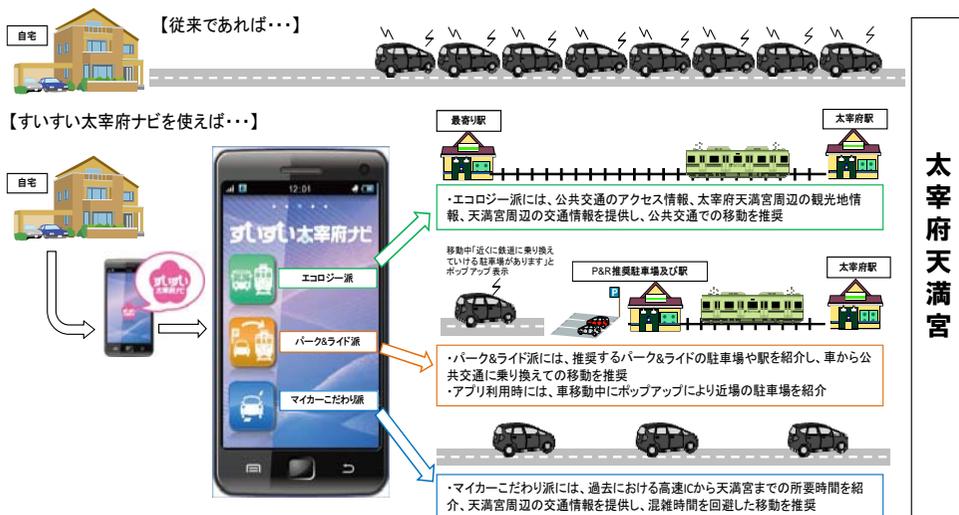


スマートフォンを活用した交通情報提供によるクルマ利用の抑制に寄与

・福岡県太宰府市は、年間700万人の観光客が訪れる。特に太宰府天満宮の参拝者数は正月三日だけで200万人に上るため、年末年始を中心に慢性的な交通渋滞が発生。



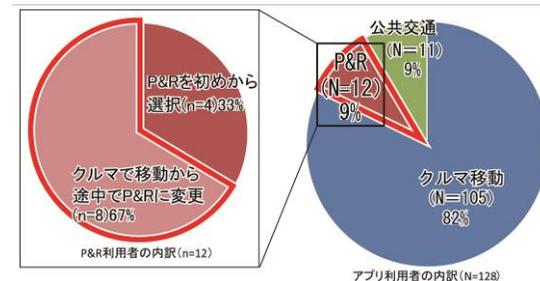
・スマートフォンのGPS機能による位置情報を活用したアプリを構築し、ユーザーがある一定のエリアに入ると公共交通の乗換情報を提供しクルマ利用を抑制し交通渋滞緩和を図る取り組み「すいすい太宰府ナビ」を実施 (実施期間: H24.12.1~H25.1.31)



上図: スマートフォンアプリ「すいすい太宰府ナビ」のイメージ図

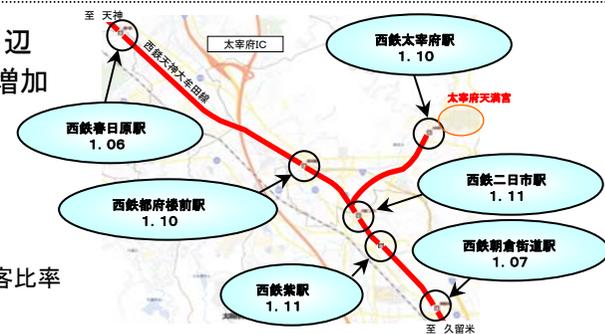
▼パーク&ライド(P&R)情報を提供したことによる交通モード分散効果

①P&Rを利用した12名の内、8名は情報取得によりクルマ移動からP&R利用への転換が見られた。



上図: アプリ利用者及びP&R利用者の内訳

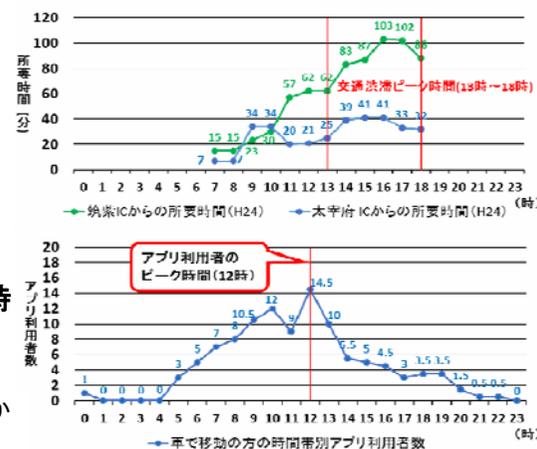
②太宰府駅を中心とした周辺駅の乗降客数が全駅で増加



右図: 太宰府周辺駅の乗降客比率 (1月1日の対前年比)

▼過去の所要時間を示したことによる時間分散効果

前年同月同日同時間帯の所要時間を掲示することにより、アプリ利用者は交通渋滞の時間帯を避けて移動している傾向が見られた。



過去の混雑ピーク時間: 13~18時

アプリ利用者の利用ピーク時間: 12時

右図: クルマ移動者のアプリ利用時間とICからの過去の所要時間(H24.1.1~3の平均値)